〇〇学級　図画工作科学習指導案

1　題材名

「パズルで　アート」　（造形遊び）

2　指導観

（1）こんな児童だから

本題材では，本学級で図画工作科を学習している６年生２名と，学習内容によって本学級での学習を選択している２年生１名の計３名の児童で学習を行う。個別の実態は以下のとおりである。

児童	学習への取組の実態
A児	・指示されたことに素直に取り組み，何事にも意欲的である。 ・微細運動のぎこちなさが見られる。はさみなどの用具を使った活動に困難さがある。 ・表現したことを教師や友達に伝えようとする。
B児	・新奇場面・活動に戸惑うことがある。 ・教師からの指示や言葉がけを拠り所として活動することが多い。 ・時々わざと突飛な行動をとることがあるが，注意されると活動を修正することができる。
C児	・指示を聞いて行動に移すことが難しく，学習では支援を要する。 ・パターン化された課題に意欲的である。 ・集中できる時間は 10～15 分程度である。

このような児童にとって，パズルで自分の表したい形やものをつくったり，パズルでできた形の見立て遊びをしたりする活動をすることは，一人一人の特性を発揮し，自ら造形する楽しさを味わうことにつながると考える。

（2）こんな題材で

本題材は，パズルを使って，自分のイメージに合った色や形を選び，模様や形をつくることを楽しんだり，自分や友達の作品のよさや表現の面白さを味わったりすることをねらいとしている。

何度も修正できるパズルを用いて，貼ったり剥いだりを繰り返しながら自分のイメージに合った表現ができると考える。また，友達や教師と関わり合いながら活動することで，友達の表現の工夫のよさや面白さを味わったり，作品を飾り，友達に見てもらうことで，作品に愛着をもったりするなど初歩的な鑑賞活動に発展すると考える。

本題材は，特別支援学校学習指導要領小学部（知的）の図画工作　１段階(1)「かいたり，つくったり，飾ったりすることに関心をもつ。」と特に関連が深く，かくことと同様に，パズルで模様や形を表現し，その作品で表したものに意味付けし確かな自己表現をすることにつながると考える。

（3）このように指導して

〇　発想・構想，表現の段階においては，思い思いにパズルを並べて模様や形をつくる。並べ方や組み合わせる形や色によって，できる模様や形がたくさんあることに気付かせる。第１時では，教師がつくった模様や形の見立てクイズをしたり，教師と一緒にパズルを並べてできた模様や形の色や形などを基に，自分のイメージをもったりする。第２・３時には，粘着性のあるボードに模様や形をつくりながら，何かに見立てる活動を楽しむ。児童の表現の工夫や，児童が見付けた表現の面白さやよさを教師が価値付けをし，自信をもって活動に取り組めるように支援する。

〇　鑑賞の段階においては，できた作品を階段踊り場に展示し，全校児童にも鑑賞してもらう。友達からもらったコメントを読み，振り返りを行う。

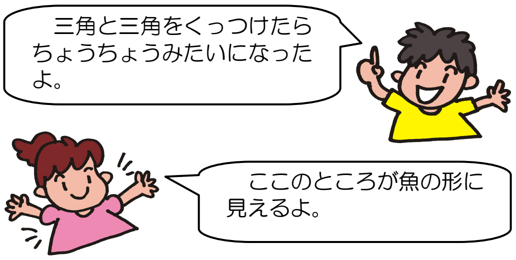
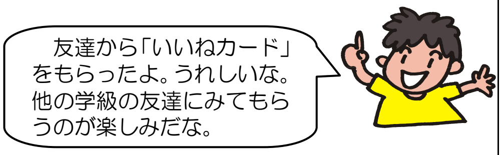
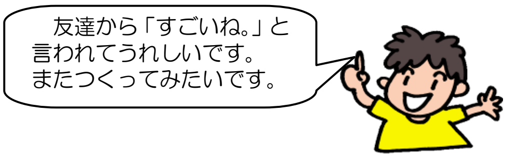
3　題材目標

〇 模様や形をつくりながら，その活動自体を楽しんでいる。　（造形への関心・意欲・態度）

〇 パズルで模様や形をつくることを楽しみながら色や形を工夫し，自分のイメージを広げている。　（発想や構想の能力）（創造的な技能）

〇 作品を見ながら表現した内容を説明したり聞いたりしている。　（鑑賞の能力）

4　学習計画（全４時間）

過程 配時	学習活動	手だて（※） ふりかえり活動に関する手だて（◆）	児童の姿
発想 構想 ・ 表現 ①	1　「パズルで　アート」の活動内容を知り，活動の見通しをもつ。 2　パズルを並べ，できた模様や形からイメージを広げる。 ○　見立てクイズをする。 ○　パズルを並べて，模様や形をつくり，何かに見立てる。 ○　次時の活動を知る。	※　活動計画を提示する。 ※　材料を十分に準備し，活動に浸れるようにする。 ※　材料を色・形ごとに分ける。 ※　パズルに慣れるため，不織布の上で自由にパズルを操作できるようにする。 ◆　作品を鑑賞し，見付けたよさや面白さを自由に出し合わせる。 ◆　活動や表現の工夫のよさを教師が賞賛する。	◎　できた模様や形からイメージを広げ，何かに見立てている。 ◎　思いついたことを試みようとしている。 ◎　パズルの並べ方を工夫している。 
発想 構想 ・ 表現 ② 本時 2/4	3　並べ方や組み合わせ方を工夫しながら活動を楽しむ。 ○　パズルを並べ，模様や形をつくる。 ○　できた模様や形からイメージを広げ，何かに見立てる。 ○　作品を鑑賞し，自分のがんばりを確かめたり，表現のよさや面白さを味わったりする。 ○次時の活動を知る。	※　材料を十分に準備し，活動に浸れるようにする。 ※　材料を色・形ごとに分ける。 ※　貼ったり剥いだりが容易にできるようなボードを用意する。 ※　言葉がけなどを通して，児童の活動のよさを価値付けし，自信をもって活動できるようにする。 ※　作品を階段踊り場に展示することを伝え，意欲的に活動できるようにする。 ◆　作品を鑑賞し，見付けたよさや面白さを「いいねカード」や口頭で自由に出し合わせる。 ◆　活動や表現の工夫のよさを教師が賞賛する。	◎　思いついたことを試みようとしている。 ◎　組み合わせや配置を生かした表現の方法を考えている。 ◎　パズルを並べる活動を楽しみながら，イメージを広げている。 ◎　作品のよいところや面白いところを見付けて「いいねカード」を貼っている。 
鑑賞 ①	4　できた作品を紹介し，自分や友達の表現のよさや面白さを味わう。 ○　お気に入りの形や色を紹介する。 ○　友達のコメントを聞く。	※　全校児童にも鑑賞してもらうため，階段踊り場に作品を展示する。 ◆　コメントカードを用意し，友達の思いを感じ取ることができるようにする。	◎　自分や友達の表現のよさや面白さを味わいながら作品を鑑賞している。 ◎　友達からのコメントカードを教師から読んでもらい，活動を振り返っている。 

５　本時の指導について

（１）本時の目標

○　パズルで模様や形をつくることを楽しんでいる。　（造形への関心・意欲・態度）

○　パズルの並べ方や組み合わせを工夫しながら自分のイメージを広げている。

（発想や構想の能力）（創造的な技能）

（２）本時指導の重点

本時は，パズルの並べ方や組み合わせ方を工夫して模様や形をつくる活動を行う。選んだ色や形を並べて模様や形をつくることを楽しんだり，パズルの並べ方や組み合わせを工夫しながらイメージを広げたりすることをねらいとしている。そのために，以下のことを行う。

○　生活経験や発達によって異なる一人一人の表現能力を伸長できるような個別の支援。

○　自分の活動や表現に自信をもち，意欲的に活動するためのふりかえり活動の設定。

（３）　本時の展開（　□：課題　　※：手だて　　◆：ふりかえり活動に関する手だて　）

学習活動	Ａ児	Ｂ児	Ｃ児
1　本時の活動内容とめあてを確かめる。	めあて　パズルをならべて，すきなもようやかたちをつくろう。		
	※　スケジュールを示す。 ※　貼ったり剥いだりが容易にできるようなボードを用意する。	※　スケジュールを示す。 ※　貼ったり剥いだりが容易にできるようなボードを用意する。	※　手順カードを提示し，活動の見通しをもてるようにする。 ※　貼ったり剥いだりが容易にできるようなボードを用意する。
2　パズルを並べて，模様や形をつくる。 (1)　パズルを選び，ボードに貼る。 (2)　できた模様や形からイメージを広げ，何かに見立てる。	※　材料を色・形別に分け，作業台の上に準備する。 好きなパズルを選び，並べたり組み合わせたりする中でイメージを広げ，楽しみながら制作する。 ※　自分の活動に集中できるよう，活動や表現のよさを大いにほめる。	※　材料を色別に分け，作業台の上に準備する。 自分から好きなパズルを選び，模様や形をつくる活動に取り組むことができる。 ※　指差しや言葉がけで，パズルを貼る場所に注目させる。 ※　自分でできたときは大いにほめる。	※　ボードの大きさを選択できるようにする。 ※　材料を色別に分け，作業台の上に準備する。 好きなパズルを選び，教師と一緒にボードに貼ることができる。 ※　活動に入れないときは，手を取って一緒に行ったり，前時につくった作品の写真を提示したりする。
3　本時学習の振り返りを行う。 (1)　自分や友達の表現のよいところに「いいねカード」を貼る。 (2)　次時の活動を知る。	作品のよいところを友達や教師に伝えることができる。 ◆　「いいねカード」を基に活動を振り返ることができるようにする。 ◆　自分がイメージした作品ができたか尋ねる。	教師とやりとりをしながら，自分や友達の作品のよいところを見付けることができる。 ◆　教師が先に「いいねカード」を貼り，活動や表現のよさをほめる。 ◆　教師とやりとりしながら作品のよいところを見付けられるようにする。	◆「いいねカード」を貼り活動や表現のよさを大いにほめる。 自分の作品で気に入ったところを教師に知らせることができる。 ◆　教師と一緒に作品のよいところを見付け，指差しで知らせたり，「いいねカード」を貼ったりする。